

世界が進むチカラになる。



衛星地球観測コンソーシアム
設立総会Day2イベント

カーボンプレジットによる 持続可能な未来 —金融機関の視点—

2022年10月12日

株式会社三菱UFJ銀行

サステナブルビジネス部

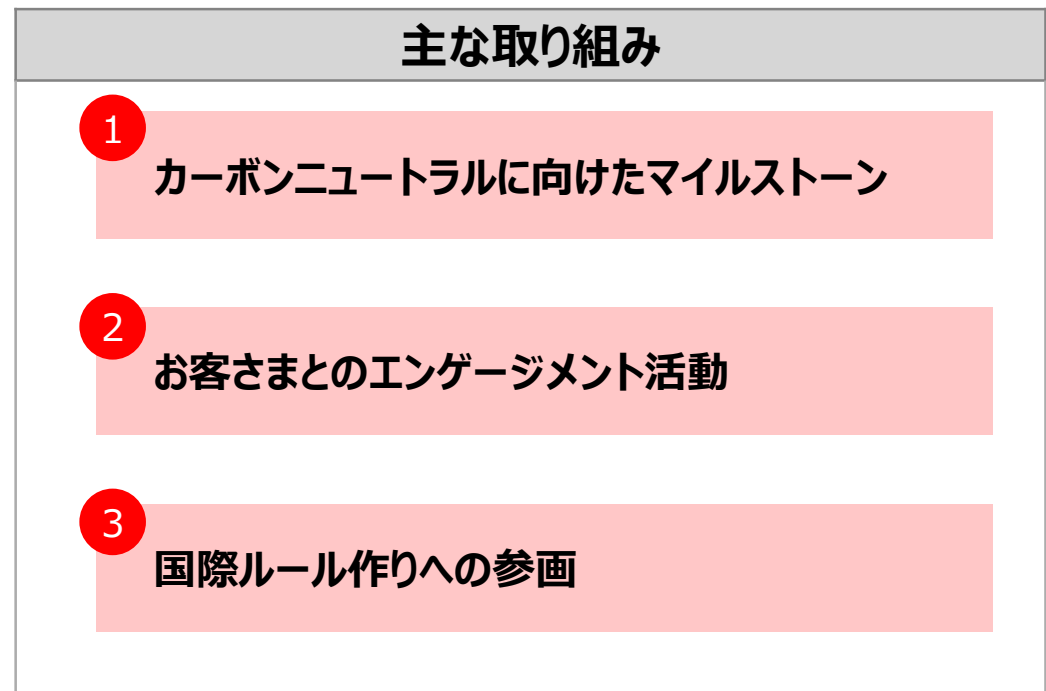
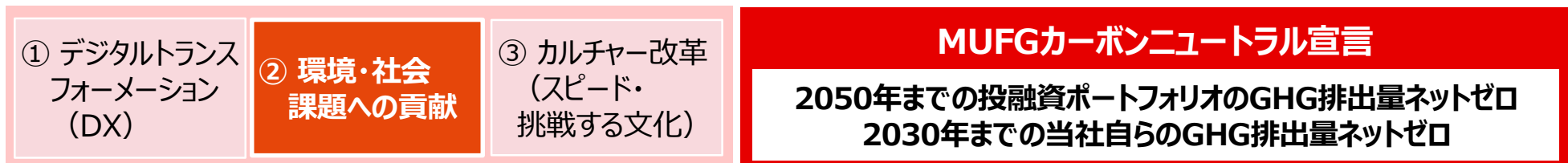
三菱UFJフィナンシャル・グループ



MUFGのサステナビリティ経営

– 気候変動、少子・高齢化社会等の新たな優先10課題を起点に、戦略や施策を展開

世界が進むチカラになる。



■ お客さまのカーボンニュートラル化支援

– GHG排出量の可視化、削減計画・実行の次のソリューションとしてオフセット目的でのカーボンクレジット（CC）提供を検討

顧客のエンゲージメント深化に向けた取組み

GHG排出量可視化

削減計画・実行

カーボンオフセット

ソリューション

お客様のGHG排出量算定支援、
TCFD開示コンサル

東京海上との協業（コンサル）
ゼロボード社との協働（算定・可視化）

1

GHG排出削減をサポートする
ファイナンス・保険の提供

グリーンローン、サステナビリティ・
リンク・ローン、再エネファンド、
気候変動関連保険

CC活用の
ノウハウ獲得

加州水素
ステーション
事業者への出資

CC提供

ENGIEとの協業

ルールづくり

関係法令（温対法）改正に係る
環境省検討会¹参画

トランジションのガイドライン策定

「Asia Transition Finance
Working Group」主導

カーボンクレジット市場の活性化

ICVCM²、GXリーグ³、
カーボンクレジット検討会⁴参画

（出所） 弊行作成

（注） 1. 温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）改正を踏まえた温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度検討会

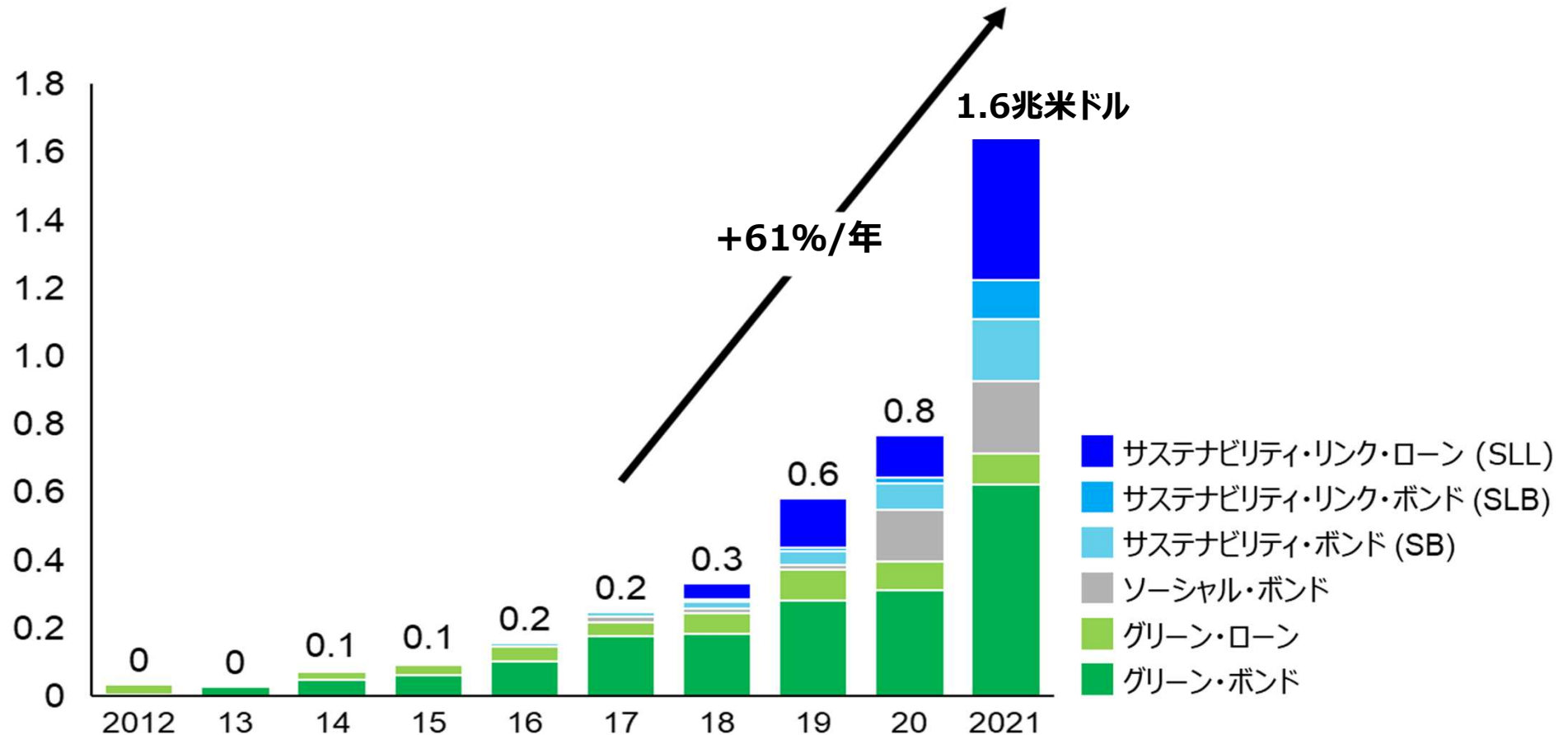
2. Integrity Council for Voluntary Carbon Markets、IETSVC（Taskforce on scaling voluntary carbon markets）

3. A group of companies working swiftly toward carbon neutrality and succeeding internationally to lead the transformation (GX: green transformation) of the overall economic and social system in Japan

4. カーボンニュートラルの実現に向けたカーボン・クレジットの適切な活用のための環境整備に関する検討会

GHG排出削減をサポートするファイナンス —サステナブル・ファイナンス

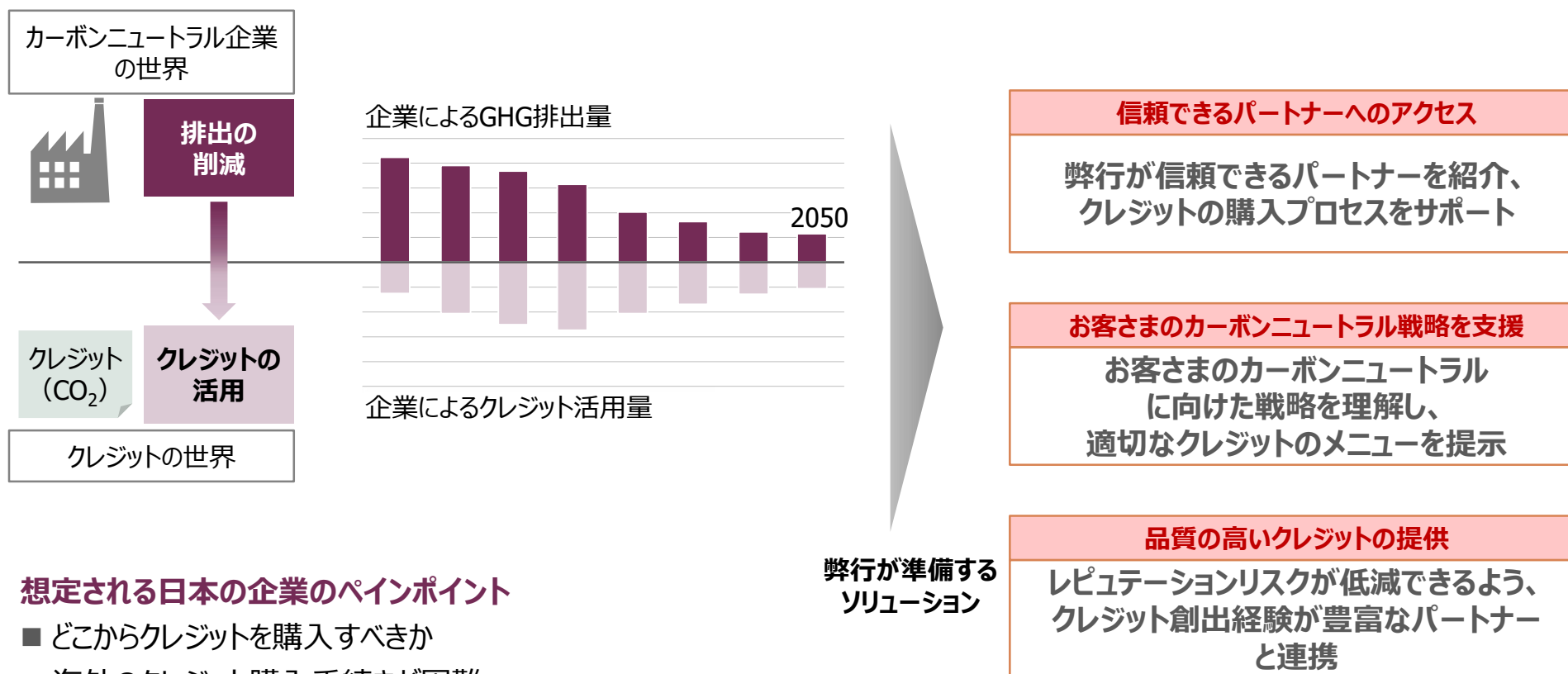
グローバルにおけるサステナブルファイナンス（兆米ドル、2012-2021）



(出所) Bloomberg NEF, Asia Transition Finance Study Group (ATF SG) の資料より

（ご参考） 仏電力大手ENGIE社との協働体制（1）

- Engieが再エネ事業等で創出するカーボンクレジットを本邦企業へ供給することを企図
- 中長期的に見て、カーボンクレジットはお客さまのカーボンニュートラル達成に必要



想定される日本の企業のペインポイント

- どこからクレジットを購入すべきか
- 海外のクレジット購入手続きが困難
- どのクレジットを購入すればオフセットに使えるのか
- どのクレジットを購入すれば品質に問題がないのか

(出所) 経済産業省カーボンクレジット検討会資料、弊行作成

（ご参考） 仏電力大手ENGIE社との協働体制（2）

ENGIEとの協働体制

協働の目的

お客さまのカーボンニュートラル化を支援するため、ENGIEが取り扱う優良なカーボンクレジットをお客さまに提供可能な体制を整備し、カーボンニュートラルへの目標達成を支援するソリューションメニューの拡充を目指す。ENGIEと共同で再生可能エネルギーや、水素などの新事業の開発・展開も検討

ENGIEの強み

- 高品質なカーボンクレジットの供給
- カーボンクレジットの創出ノウハウ、上流プロジェクトへのアクセス



弊行の強み

- 顧客のカーボンニュートラル戦略の理解と顧客ネットワーク
- 顧客に提供するカーボンニュートラル化支援のビジネスメニュー

足許の検討状況

日本のお客さまがアクセスしやすい形でカーボンクレジットが提供できるよう、制度動向、お客様のニーズを確認しながら、ソリューション（展開方法、契約形態）を具体化

お客様のニーズ確認

課題・機会

活用方法

活用量

ソリューションの具体化

イントロダクション

ディストリビューション

アドバイザーサービス

■ カーボンドレジットの位置付けと流通に向けた課題

カーボンドレジットの位置付け

- カーボンドレジットはカーボンニュートラル達成に向けたツールの1つ
- カーボンニュートラルに向けたトランジションやイノベーション推進へのファイナンス支援が重要
- エンゲージメントを通じ、企業等のカーボンニュートラル化を促し、支援することで「なに」に、「どれだけ」のカーボンドレジットが必要であるかを整理する一歩に繋がる
- 結果として、カーボンドレジットの需要を高め、クレジット市場の活性化を促すことに繋がる可能性あり

流通に向けた主な課題

- ① **カーボンドレジット使用の妥当性**
 - 「なに」に、「どれだけ」使用しても問題ないか、妥当に評価されるか
- ② **制度リスク**
 - カーボンプライシング制度が決まらない、もしくは制度変更に伴い、カーボンドレジットの価値が変わる（⇒キャッシュフローへの影響）
- ③ **カーボンドレジットの信頼性（※衛星データを活用することはできないか）**
 - 「ウォッシュ」ではないか
- ④ **炭素価格の予見性**
 - キャッシュフローの予見可能性

■ ディスクレームー

本プレゼンテーションにより、貴社と株式会社三菱UFJ銀行の間には何ら委任その他の契約関係が発生するものではなく、当行が一切法的な義務・責任を負うものではありません。

本資料は信頼できると考えられる各種データに基づいて作成されていますが、当行はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、当行の現時点での判断を示しているに過ぎません。また、本資料に関連して生じた一切の損害については、当行は責任を負いません。その他専門的知識に係る問題については、必ず貴社の弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談の上ご確認下さい。

株式会社三菱UFJ銀行と三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱HCキャピタル株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、エムエスティ保険サービス株式会社、三菱UFJキャピタル株式会社は別法人です。本資料は三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱HCキャピタル株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、エムエスティ保険サービス株式会社、三菱UFJキャピタル株式会社が提供する商品・サービスについて説明するものではありません。また、株式会社三菱UFJ銀行の役職員は三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱HCキャピタル株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、エムエスティ保険サービス株式会社、三菱UFJキャピタル株式会社が提供する商品・サービスの勧誘行為をすることはできません。

本資料は当行の著作物であり、著作権法により保護されております。当行の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

Copyright 2022 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.

株式会社三菱UFJ銀行
サステナブルビジネス部
〒100-8388
東京都千代田区丸の内2-7-1